

昭和61年度 重要貝類毒化対策事業

(1) 毒化モニタリング調査

(要 約)

高林 信雄・蛭名 政仁・林 義孝(青森県水産増殖センター)
 小林 英一・野村 真美・古川 章子・村上 淳子(青森県衛生研究所)

この調査は、青森県外海沿岸域(日本海、津軽海峡、太平洋)におけるホタテガイの毒化状況と、その原因プランクトンのモニタリングを行うことにより、計画的な貝類の出荷、加工等を行い、漁業経営の安定に資することを目的として実施した。なお、詳細については「昭和61年度重要貝類毒化対策事業報告書(毒化モニタリング)」(昭和62年3月、青森県)として報告した。

調 査 方 法

1. 調査時期及び回数

調査名	調査地点	61.4	5	6	7	8	9	10	11	12	62.1	2	3	計
水質環境 調査及び プランク トン調査	岩	4	4	4	5	3	5	3					5	33
	今	5	4	2				5	4				3	23
	野	4	1	1			3	1	2				3	15
	三	4	4	5	4	2	5	4	4				3	35
	茂	4	4	5	3	4	5	4	4	1			3	37
小	計	21	17	17	12	9	18	17	14	1		17	143	
外界毒力 調 査	岩	1		1	1	3								6
	今	2	1	1	3		1					1		9
	野	3	1	1	2	3								10
	三	3					2							5
	小	計	9	2	3	6	6	3					1	30

2. 調査地点

図1に示した青森県沿岸の各地点

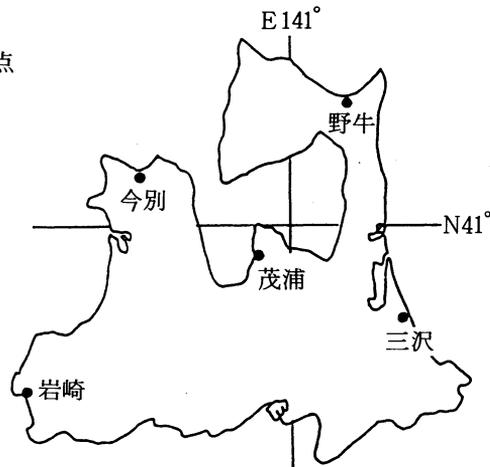


図1 毒化モニタリング調査地点

3. 調査対象貝

ホタテガイ *Patinopecten yessoensis* (JAY)

4. 調査項目

水温、採水プランクトン、貝毒

結 果

1. 毒化原因プランクトンの出現状況と環境条件

(1) 下痢性貝毒原因プランクトン

1) 日本海海域

D. fortii が最初に出現したのは4月3日の30cells/ℓで、この時の水温は7.9℃であった。また、最高出現数は6月2日の470 cells/ℓで、この時の水温は13.9℃であった。最後に出現したのは6月16日の10cell/ℓで、この時の水温は18.5℃であった。

D. acuminata が最初に出現したのは4月14日の20cells/ℓで、この時の水温は10.1℃であった。また、最高出現数は4月21日の50cells/ℓで、この時の水温は12.5℃であった。その後は出現を確認できなかった。

2) 津軽海峡西部海域

D. fortii が最初に出現したのは5月13日の10cells/ℓで、この時の水温は10.1℃であった。また、最高出現数は6月23日の50cells/ℓであった。その後は出現を確認できなかった。

D. acuminata が出現したのは4月7日の10 cells/ℓだけで、この時の水温は15.2℃であった。

3) 津軽海峡東部海域

D. fortii、*D. acuminata* ともに調査期間を通して出現を確認できなかった。

4) 太平洋海域

D. fortii が最初に出現したのは5月6日の10cells/ℓで、この時の水温は11.2℃であった。また、最高出現数は6月9日の40cells/ℓで、この時の水温は12.9℃であった。最後に出現したのは7月7日の10cells/ℓで、この時の水温は15.2℃であった。

D. acuminata は調査期間を通して出現を確認できなかった。

5) 陸奥湾海域

D. fortii が最初に出現したのは5月19日の30cells/ℓで、この時の水温は10.9℃であった。また、最高出現数は6月30日の60cells/ℓで、この時の水温は12.1℃であった。最後に出現したのは7月14日の10cells/ℓで、この時の水温は17.8℃であった。

D. acuminata が最初に出現したのは4月7日の10cells/ℓで、この時の水温は5.9℃であった。また、最高出現数は5月26日の50cells/ℓで、この時の水温は11.1℃であった。最後に出現したのは10月6日の10cells/ℓで、この時の水温は20.7℃であった。

(2) まひ性貝毒原因プランクトン

P. tamarensis 及び *P. catenella* は、全調査地点、全調査期間を通して、出現を確認できなかった。

2. ホタテガイの毒化状況

(1) 下痢性貝毒

1) 日本海海域

検出限界を越えた期間は4月12日から8月18日までであった。最高毒力は2.0 MU/gで6月27日に検出された。

2) 津軽海峡西部海域

検出限界を越えた期間は4月22日から6月19日までであった。最高毒力は0.4 MU/gで5月22日と6月19日に検出された。

3) 津軽海峡東部海域

検出限界を越えたのは4月27日と6月28日の2回だけで、この時の毒力は0.3 MU/gであった。

4) 太平洋海域

調査期間を通して検出限界未満であった。

(2) まひ性貝毒

1) 日本海海域

調査期間を通して検出限界未満であった。

2) 津軽海峡西部海域

検出限界を越えた期間は7月22日から7月29日までであった。最高毒力は2.09 MU/gで7月22日に検出された。

3) 津軽海峡東部海域

検出限界を越えた期間は7月21日から8月23日までであった。最高毒力は5.12 MU/gで7月21日に検出された。

4) 太平洋海域

検出限界を越えた期間は4月3日から9月24日までであった。最高毒力は25.9 MU/gで9月24日に検出された。